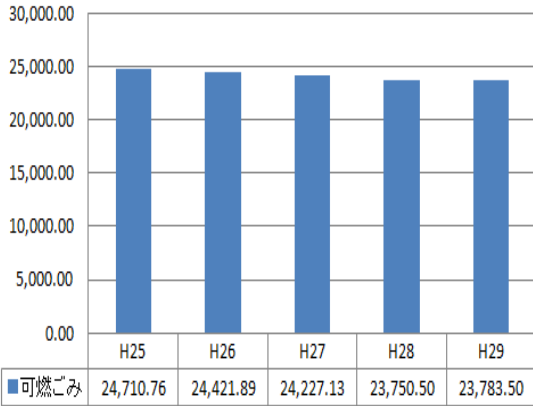


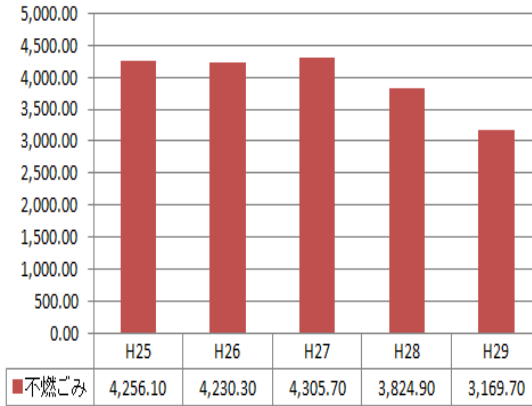
今年度の取り組みと 来年度以降の取り組みについて

ごみの収集量の推移

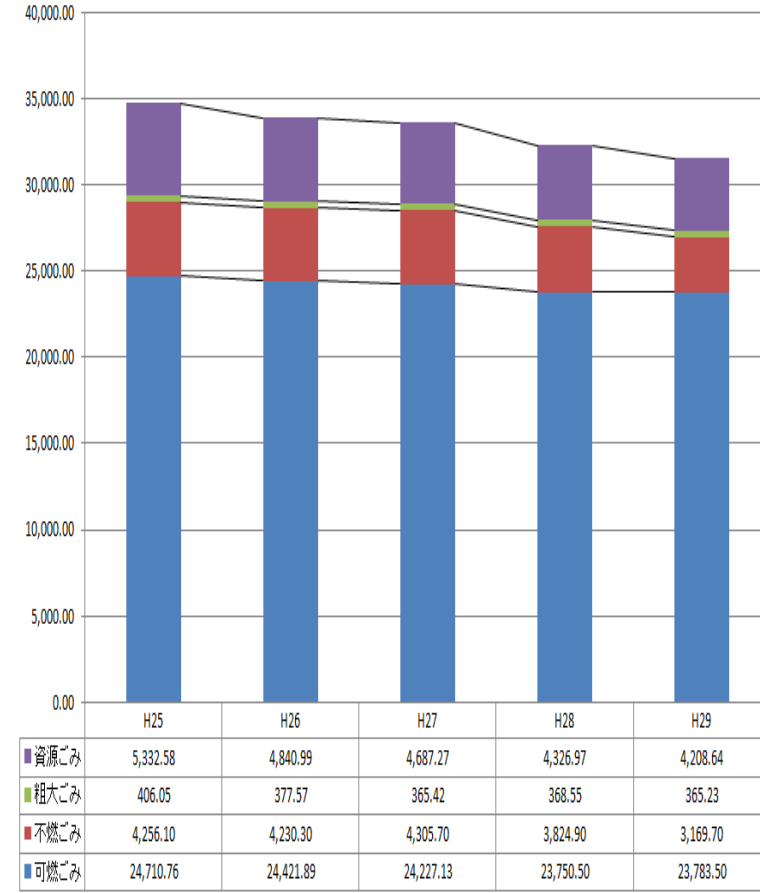
年度別収集量(可燃ごみ)



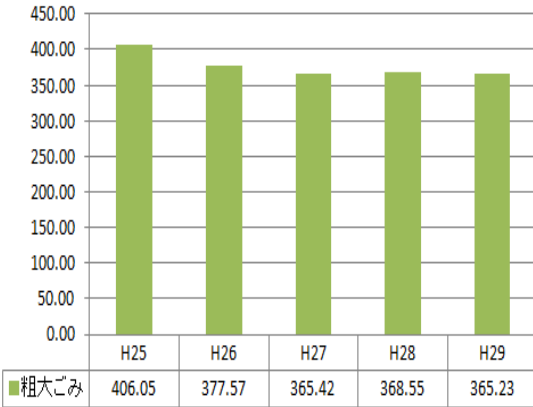
年度別収集量(不燃ごみ)



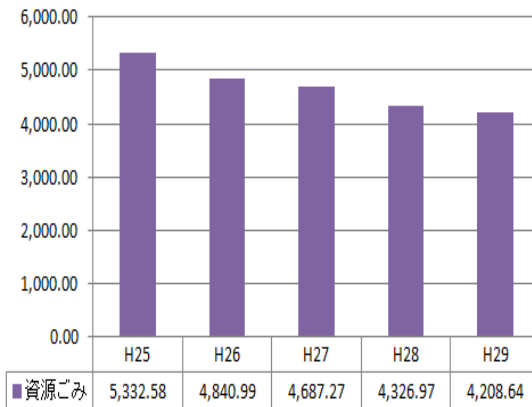
年度別収集量(合計)



年度別収集量(粗大ごみ)



年度別収集量(資源ごみ)



カンカンBOOK・福服BOOK事業（資源ごみ回収・子育て支援連携事業）

「カンカンBOOK」…市内事業所から飲用のアルミ缶・スチール缶を寄附していただき、その売却益で児童館や児童研修館の絵本などを購入する事業です。

「福服BOOK」……市民より着なくなった洋服等を寄附していただき、その売却益で児童館や児童研修館の絵本などを購入する事業です。

◆カンカンBOOK事業

項目	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
協力事業所数	6	12	15	16
売却量	1,167kg	2,140kg	2,800kg	3,660kg※1
売却益	72,045円	151,238円	245,428円	277,673円※1
絵本購入数	47	84	229	未定
贈呈施設数	7	8	21	未定

◆福服BOOK事業

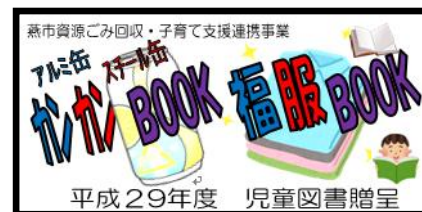
項目	H29年度	H30年度
回収場所	燕庁舎駐車場	市役所駐車場
回収日	4月～11月の毎週日曜日	年末年始を除く毎日
回収時間	9:00～15:00	9:00～17:00
イベント回収	5回	6回（1回は雨で中止）
回収量	45,280kg	67,540kg※1
売却益	45,280円	67,540円※1

※1 H30年度は12月末までの実績

●福服BOOKのぼり旗



●贈呈図書ラベル



小型家電リサイクル事業

小型家電製品に含まれる有用金属の再資源化と不燃ごみの減量化を行います。
また、回収や分解等の業務を障がい者就労支援施設へ委託し、就労支援を行っている。

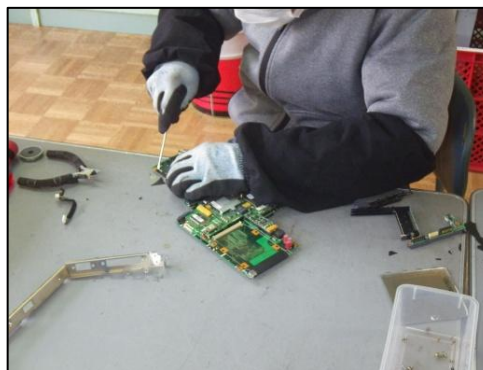
◆年度別実績

	売却量	売却益
H26 ※1	2, 170 kg	60, 630 円
H27	3, 218 kg	69, 922 円
H28	5, 203 kg	200, 827 円
H29	7, 408 kg	290, 919 円
H30 ※2	3, 088 kg	250, 109 円

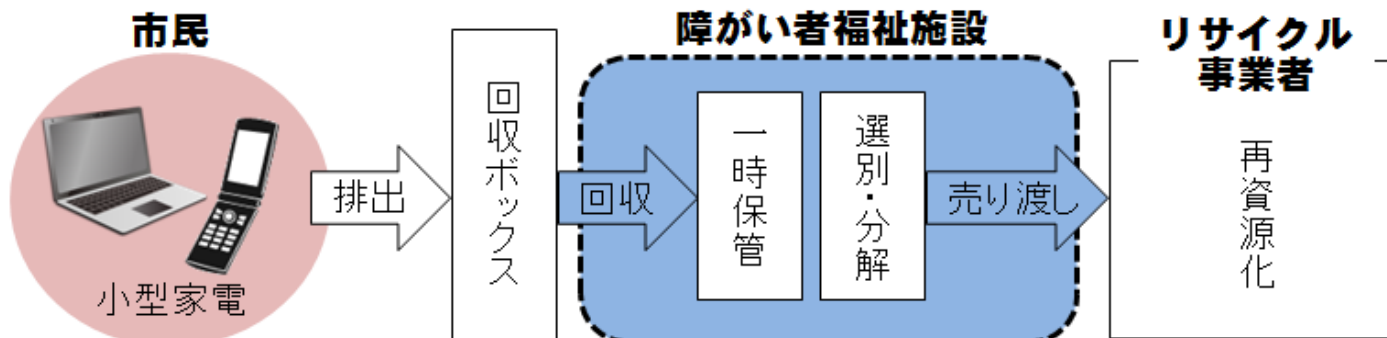
※1 H26年度は実証実験とし6月より開始。

※2 H30年度は12月末までの実績

◆作業風景



◆収集～再資源化までのイメージ



トリクロロエチレンの排出抑制にむけて ①

- ◆「トリクロロエチレン排出抑制検討会」の設置について
※燕市はオブザーバーとして参加

【経緯】

トリクロロエチレンの排出量が多く、河川水の基準超過や大気中濃度が高い地域が存在するなど、事業者による排出抑制対策が必要な状況です。

【現状】

- ・燕市ほか複数地域でトリクロロエチレンのモニタリング調査を実施しているが、大気中の濃度は全国ワーストレベル(環境基準値内)
- ・全国のトリクロロエチレン使用量のうち約10%を燕市内の事業所が占めている。一方で、使用事業所では適切な取扱いや危険性についての知識が不足している。

【今後の取組】

- ・環境基準を長期に達成し、水質や大気等の環境を将来にわたり良好に維持していくため、平成30年度から3年間の事業として、排出抑制策を推進し環境負荷の低減を図る「トリクロロエチレン排出抑制推進事業」に取り組む

有識者による検討会の設置(30、31年度)

- ・学識経験者等で構成する検討会を設置し、効果的な取組を検討する

対策推進のため地域全体での意識向上の取組(30～32年度)

- ・使用事業者向けセミナーの開催
- ・立入検査等の指導や情報提供に活用するパンフレットの作成

トリクロロエチレンの排出抑制にむけて ②

◆「トリクロロエチレン排出抑制検討会」の構成委員

	氏名	所属等
委員	中杉 修身	国立環境研究所 特別客員研究員 中央環境審議会廃棄物部会 専門委員 元上智大学大学院 教授 元環境省指定物質基礎情報等調査検討会 委員
	梅木 義彦	日本産業洗浄協議会洗浄技術委員会 副委員長兼シニアアドバイザー
	遠藤 小太郎	(一社)産業環境管理協会 環境管理部門人材育成・出版センター所長 環境省VOC排出インベントリ 検討委員 東京都民間と連携したVOC排出削減対策事業検討会 委員
	狩野 直樹	新潟大学工学部 准教授 新潟県環境影響評価審査会 委員
	久保田 順一	JK-tec代表 元新潟県工業技術総合研究所 県央技術支援センター長
	山際 和明	新潟大学工学部 教授 新潟県公害審査会 委員

	所属等
オブザーバー等	燕商工会議所
	日本金属ハウスウエア工業組合 理事長
	日本金属洋食器工業組合 副理事
	三条市市民部環境課
	燕市市民生活部生活環境課

事務局
新潟県県民生活・環境部環境対策課

トリクロロエチレンの排出抑制にむけて ③

【検討会開催スケジュール（予定）】

- 第1回検討会 H30. 7.18開催
・検討会の設置、検討の進め方
・現状と課題の共有
- 第2回検討会 H30. 9. 10開催
・現地視察
- 第3回検討会 H30. 11. 19開催
・規制強化又は自主的取組の促進
・代替物質や研磨剤固化剤成分変更の検討
・事業者に対する支援手段の検討
・業界団体及び事業者へのヒアリング
- 第4回検討会 H31. 2頃
- 第5回検討会 H31. 5頃
- 第6回検討会 H31. 8頃
- 第7回検討会 H32. 1頃

【地域別発生源周辺の調査結果】

地域	地点数	平均値	最小値	—	最大値
燕市(H26)	35	38	0.8	—	170
燕市(H28)	17	67	9.6	—	220
三条市	9	24	3.5	—	83
岡谷市	28	9.7	1.5	—	83
諏訪市	16	15	2.0	—	55
東京都	11	2.9	0.97	—	7.4
大阪府	16	5.0	0.33	—	20

環境基準の改定について

平成30年11月19日に「ベンゼン等による大気汚染に係る環境基準について」(平成9年2月環境庁告示4号)の一部を改正し、トリクロロエチレンによる大気汚染に係る環境基準の改定がありました。

改定内容

「1年平均値が0.2mg/m³以下であること」⇒「1年平均値が0.13mg/m³以下であること」

2018 ふれあいフォーラム

燕市生活環境課

地球温暖化防止推進センターと地球温暖化防止活動推進員から協力をしていただき、来場者に「エコドライブシミュレーター」を使用した地球温暖化防止の啓発活動を実施しました。

また、生活環境課のブースでは食品ロスのパネル展示や古着回収などを行いました。

- ◆ 開催日 平成30年6月2日(土)
- ◆ 会場 吉田産業会館
- ◆ 主催 ふれあいフォーラム実行委員会
- ◆ 後援 燕市
燕市教育委員会
燕市社会福祉協議会 等

- ◆ 参加団体
 - ・高仰の会
 - ・NPO法人NPOさんじょう
 - ・東北電気保安協会
 - ・越後工業(株)
 - ・新潟県警
 - ・燕市社会福祉協議会
 - ・燕市生活環境課

● エコドライブシミュレーター



● 手づくりうちわ体験



● 食品ロスパネル展示



● 発電体験



第8回クリーンアップ選手権大会 ①

「I♥Tsubame・Clean up in 燕」(日本一きれいで輝く街を目指して!)の活動事業の一つとして、ごみ拾いに競技性を持たせ楽しく参加していただきながら、地域の環境やごみ問題に対する意識を高めること。また、まち歩きを通じて、風景などを楽しみながら地域の良さを新発見、再発見することを目的として開催しました。

- ◆ 開催日 平成30年6月23日(土)
- ◆ 会場 燕市役所燕庁舎駐車場
- ◆ 主催 燕市
- ◆ 後援 燕ライオンズクラブ
燕ロータリークラブ
- ◆ 協賛 サーモス株式会社
新潟中央ヤクルト販売株式会社

◆ 参加チーム状況

自主的参加	依頼による参加
13チーム	38チーム

◆ 参加者年齢割合

18歳以下	19歳以上
16人(8.6%)	170人(91.4%)

- ◆ 参加チーム数 51チーム/186名
※過去最多の参加者数

● 競技中の様子



「I♥Tsubame・Clean up in 燕」
~日本一きれいで輝く街を目指して!~

第8回 クリーンアップ選手権大会

日時 平成30年6月23日(土) 午前8時
会場 燕市役所燕庁舎周辺
主催 燕市
後援 燕ロータリークラブ、燕ライオンズクラブ
協賛 サーモス株式会社、新潟中央ヤクルト販売株式会社

つばめの元気がかやき
ポイント事業
2000円
2000円

第8回クリーンアップ選手権大会 ②

◆参加者数推移

	参加人数	参加チーム数	ごみ回収量
第1回 スポーツランド燕	144名	36チーム	658kg (草むしり含む)
第2回 分水さくら公園	89名	23チーム	45kg
第3回 イオン県央店周辺	98名	27チーム	60kg
第4回 燕市交通公園周辺	152名	43チーム	156kg
第5回 ビジョン吉田周辺	96名	24チーム	113kg
第6回 道の駅国上周辺	181名	49チーム	238kg
第7回 吉田小学校周辺	95名	25チーム	162kg
第8回 燕市役所燕庁舎周辺	186名	51チーム	247kg

● みんなで記念撮影



◆アンケート集計結果 回答数:159名

Q.今回のイベントに参加した感想をお聞かせ下さい

	回答者数
楽しかった	132人(83.0%)
普通	27人(17.0%)
つまらない	0人(0.0%)

●楽しかった理由【抜粋】

- ・街がきれいになって、かつ、気持ちの良い汗をかけたので
- ・普段歩けない路地裏を歩けたから
- ・子どもと一緒に楽しめた

●普通の理由【抜粋】

- ・ごみを拾えば拾うほど重くなり、つらかった。
- ・ごみが少なかった。

●その他の意見【抜粋】

- ・駐車場が狭い。
- ・不自然と思われるごみもみられた。(ルールの徹底を)

クリーンデー燕

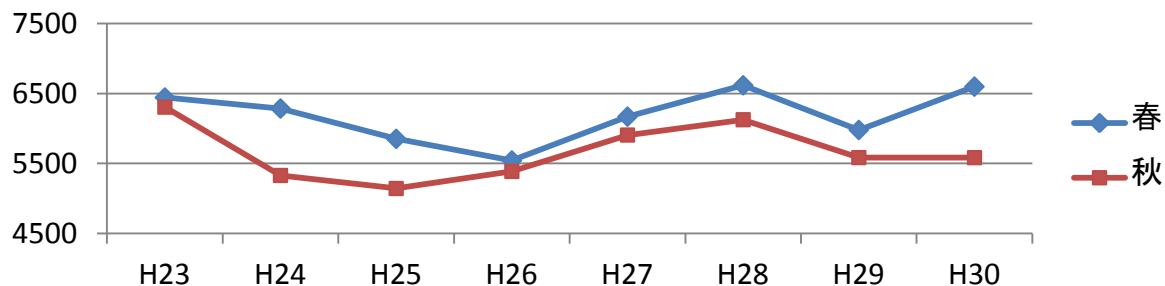
毎年、春と秋の年2回、自治会と事業所等の皆様よりご協力をいただき「クリーンデー燕」と称して市内一斉清掃を行っています。

◆平成30年度参加状況

	開催日	参加者数	参加自治体数	参加団体数
春のクリーンデー燕	4/14	6,598人	139	13
秋のクリーンデー燕	10/6	5,583人	127	15



◆年度別参加状況



クリーン作戦(職員ボランティア活動)

平成25年度の庁舎移転に伴い、毎年1回業務終了後にボランティア職員で庁舎周辺のごみ拾いを行っています。

つばめエコキッズ探検隊 ～ 地球温暖化防止作戦 !! ～ ①

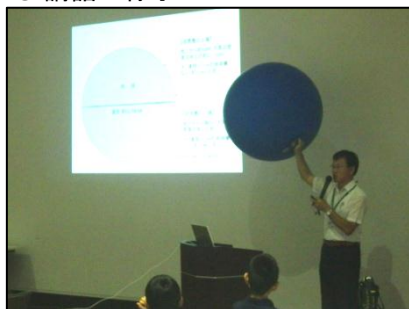
子どもたちが楽しくエコについて学び、環境についての探検を通じて環境保全の意識の醸成を図り、そこから家庭や地域での環境活動への広がりを図るプロジェクトです。

- ◆ 開催日 平成30年7月28日(土)
- ◆ 会場 燕市役所
- ◆ 主催 燕市
- ◆ 協力 新潟県地球温暖化防止活動推進センター

◆ 参加者数 24名

6年生	2名(男2、女0)
5年生	5名(男1、女4)
4年生	12名(男10、女2)
3年生	4名(男3、女1)
2年生	1名(男0、女1)

● 講話の様子



● 講師紹介



● 隊員証(ピンバッジ)授与



◆ 学校別参加状況

学校	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
小池小					男1
燕南小					男1
燕西小			女2	女2	
松長小				女2	
吉田小				男1	
吉田北小			男1		
粟生津小		男1			
分水小	女1	男2、女1	男9		

つばめエコキッズ探検隊 ～ 地球温暖化防止作戦 !! ～ ②

◆アンケート集計結果 回答数:24名

Q.今回のイベントに参加した感想をお聞かせ下さい

	回答者数
楽しかった	24人(100.0%)
普通	0人(0.0%)
つまらない	0人(0.0%)

●楽しかった理由【抜粋】

- ・地球温暖化のことを深く知れたから
- ・市役所の普段いけない所に行けたから
- ・いろいろな体験ができたから
- ・木のストラップ作りが楽しかった

●市役所探検



Q.各体験学習の感想をお聞かせください。

	楽しかった	普通	つまらない	未回答
地球温暖化の講話	17人	7人	0人	0人
市役所探検	19人	4人	0人	1人
木のストラップ作り	23人	0人	0人	1人
環境クイズ大会	20人	3人	0人	1人
発電体験	22人	0人	1人	1人

●木のストラップ作り



●環境クイズ大会



●発電体験



●記念撮影



新潟県立浅草山麓エコ・ミュージアムの自然環境に触れ、こどもたち自身が、トレッキング・ネイチャーゲームなどの体験や、環境の話などを聞くことで、身近な自然に対する関心を深めました。

- ◆ 開催日 平成30年8月4日(土)
- ◆ 場 所 新潟県立浅草山麓エコ・ミュージアム
(新潟県魚沼市大白川字浅草山1501)
- ◆ 対 象 三条市と燕市内在住の小学4年生と
その保護者
- ◆ 主 催 公益財団法人新潟県環境保全事業団
新潟県地球温暖化防止活動推進センター
- ◆ 共 催 新潟県・三条市・燕市
- ◆ 後 援 三条市教育委員会・燕市教育委員会
- ◆ 協 力 新潟県立浅草山麓エコ・ミュージアム
- ◆ 協 賛 サーモス株式会社

◆ 参加者数 16組 32名

三条市		燕市	
7組	14名	9組	18名

◆ 当日のタイムスケジュール

時 間	内 容
7:30	集合(燕三条駅燕口側)
7:40	出発
10:00	エコミュージアム到着
10:15 ~	トレッキング & ネイチャーゲーム
12:00 ~	昼食
13:00 ~	エコ工作 & 環境のお話
14:50 ~	エコミュージアム到着
17:00	解散(燕三条駅燕口側)

● エコ・ミュージアム



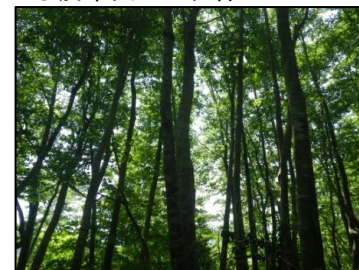
● トレッキング



● 環境講話



● 浅草山のブナ林



燕市内における公害防止活動 ①

毎月1回、燕地区の南町排水路の2地点(南公民館脇、少年野球場脇)で水質の測定を行いました。
また、騒音常時監視として、環境騒音・自動車騒音測定を5地点と高速道路騒音測定を6地点で行いました。

◆公害苦情受理及び処理状況

	大 気	水 質	騒 音	振 動	悪 臭	その他	合 計
受理件数	0 件	0 件	5 件	0 件	0 件	0 件	5 件
処理件数	0 件	0 件	5 件	0 件	0 件	0 件	5 件

●苦情内容

・近隣工場からのプレス機騒音(5件)

◆水質検査状況

検査項目	基準値 (PPM)	測定結果
ジクロロメタン	0.02	環境基準 オーバーなし
1,1-ジクロロエチレン	0.10	環境基準 オーバーなし
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	環境基準 オーバーなし
1,1,1-トリクロロエタン	1.00	環境基準 オーバーなし
トリクロロエチレン	0.01	4/6 0.062(南公民館) 5/11 0.029(南公民館)
テトラクロロエチレン	0.01	環境基準 オーバーなし

燕市内における公害防止活動 ②

◆騒音調査状況

①環境騒音、自動車騒音測定(5地点)

調査地点	調査月日
野中才地内	11/21 ~ 11/22
四ツ屋地内	12/4 ~ 12/5
吉田西太田地内	12/7 ~ 12/8
砂子塚地内	12/14 ~ 12/15
大曲地内	12/21 ~ 12/22

②高速道路騒音測定(6地点)

調査地点	調査月日	調査地点	調査月日
井土巻地内	7/13 ~ 7/14	八王寺地内	7/26 ~ 7/27
又新地内	7/19 ~ 7/20	三王湊地内	7/27 ~ 7/28
八王寺地内	7/20 ~ 7/21	関崎地内	3/5 ~ 3/6

◆測定方法ならびに測定結果

測定回数	年1回、24時間測定	
測定場所	環境騒音5地点、高速騒音6地点	
環境基準	昼	70デシベル(6時~22時)
	夜	65デシベル(22時~6時)
測定結果	全地点において環境基準を超えなかった	



◆振動調査状況

特定事業場立入実態調査 (燕市公害防止事業協同組合と連携して実施)

調査機関	対象工場	騒音調査数	振動調査数
10月 ~ 12月	27社	24社	24社

合併処理浄化槽転換促進補助事業

人口減少や高齢化などの社会情勢や厳しい財政事情等により、汚水処理施設の整備を取り巻く情勢が大きく変化したことを受け、燕市においても、集合処理区域として下水道整備を実施する区域及び個別処理区域として合併処理浄化槽で整備する区域を明確に分類するとともに、早期の汚水処理施設の概成を目指す「燕市汚水処理施設整備構想」の策定を進めています。

これを受けて、個別処理区域において、単独処理浄化槽や汲み取り式トイレから合併処理浄化槽に早期の転換を促すため、平成31年度から設置工事費等の一部を補助する制度の創設を予定しています。

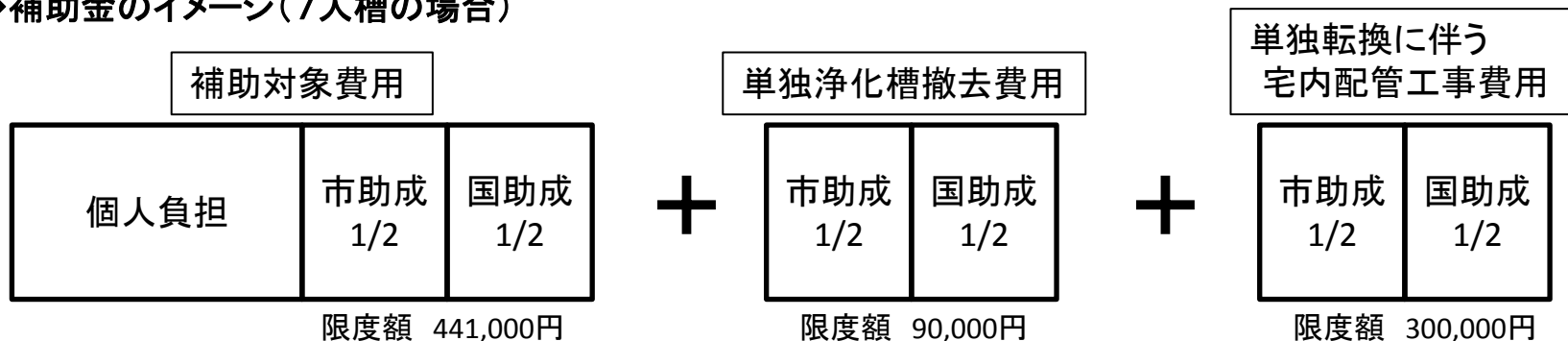
また、国から、平成31年度予算案において、新たに宅内配管工事費も助成する方針が示されたことから、本市としても、国の制度改正に合わせて合併処理浄化槽への転換促進補助制度を創設することを予定しています。

◆補助対象者

個別処理区域において、住宅で使用している単独処理浄化槽またはし尿汲み取り便槽を合併処理浄化槽(環境配慮型浄化槽※)に設置換えする方。

※ 消費電力基準、環境性能等の環境省の定める要件を満たす浄化槽

◆補助金のイメージ(7人槽の場合)



平成23年3月11日の東日本大震災の経験を踏まえて、今後発生が予測される大規模地震や津波及び水害による被害を抑止・軽減するための災害予防、さらに発生した災害廃棄物や避難所のごみの処理を適正かつ迅速に行うため災害廃棄物処理計画の策定に取組ます。

※現在、「関東地域ブロックにおける災害廃棄物処理計画モデル事業」にオブザーバーとして参加しております。

◆新潟県内策定状況

	計画名	策定
新潟市	新潟市災害廃棄物処理計画	2016年3月
糸魚川市	糸魚川市災害廃棄物処理計画	2011年7月
上越市	上越市・一般廃棄物処理基本計画 (第4部 災害廃棄物処理計画)	2015年3月
魚沼市	魚沼市災害廃棄物処理計画	2007年3月
南魚沼市	南魚沼市災害廃棄物処理計画	2016年12月
長岡市	長岡市災害廃棄物処理計画	2018年3月
五泉市	五泉市・一般廃棄物処理基本計画 (第5部 災害廃棄物処理計画)	2018年3月

【平成28年熊本地震の例】

片付けごみが道路までみ出しており、交通の障害になっています。



【仮置場の例】

(場所:福岡県朝倉市甘木仮置場:約3,000㎡)

